

## 道 徳

### ● ねらい

- (共) 道徳の時間を「要」として、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。
- (小) 道徳の時間は、各教科等における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成する。
- (中) 道徳の時間は、各教科等における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。

### ● 指導計画の作成

- (1) 校長の方針の下に、道徳教育推進教師を中心に、全教師が協力して道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間指導計画を作成する。
- (2) 全体計画は、学校における全教育活動との関連の下に、児童生徒、学校及び地域の実態を考慮して、学校の道徳教育の重点目標を設定するとともに、道徳の内容との関連を踏まえた各教科等における指導の内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法を示す。
- (3) 年間指導計画は、道徳教育の全体計画に基づき、各教科等との関連を考慮しながら、計画的、発展的に授業がなされるよう工夫する。

### ● 指導内容・指導方法

- (1) 児童生徒の発達の段階や特性を踏まえ、指導の重点や特色を一層明確にする。
- (2) 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図る。
- (3) 体験活動や実践活動を生かすなど、発達段階等を考慮した創意工夫のある指導、魅力ある教材の開発や活用、言語活動の充実、情報モラルに関する指導等に留意する。

### ● 評 価

- 道徳性の実態を把握し指導に生かす。ただし、道徳の時間に関して数値などによる評価は行わない。

### ● 今日的課題

- (1) 社会の変化や規範意識の揺らぎなどを背景に、道徳教育の充実が求められている。
- (2) 規範意識、自他の生命の尊重、自尊感情や思いやりなどの道徳性を養うとともに、それらを基盤として、主体的に判断し、適切に行動できる人間の育成が求められている。

### ● 新学習指導要領の先行実施のポイント

平成 21 年度より全面実施

- (1) 道徳の時間を要として、学校の教育活動全体において充実した取組を行う。
- (2) 校長の方針の下に、道徳教育推進教師を中心に全教師が協力して道徳教育を推進する。
- (3) 全体計画に各教科等の「内容及び時期」等を含めるなど、諸計画の具現化を図る。
- (4) 新たに付け加えられた内容項目を、道徳の時間の年間指導計画に位置付ける。
- (5) 道徳性育成のための体験活動を推進する。
- (6) 「道徳の時間」を公開することなどによる家庭や地域社会との連携の強化を図る。

### ● 全面実施に向けて取組が求められること

- (1) 道徳教育推進教師を中心にした協力体制を整備する。
- (2) 道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間指導計画を整備する。